



黒穴



など...

ユニバースかマルチバースか？

宇宙は「一点」の爆発、拡散により誕生したとされています。

これは概ね正しいと思われませんが、その「一点」の前には「廣大無辺」があったかもしれません。

つまり、宇宙は凝縮と拡大を繰り返すエネルギーかもしれないということです。

「繰り返す」と、いっても、エネルギーは変化そのものですから、同じ状態を再現することはありません。

現在、観測によれば、宇宙は拡大していますが、今度、縮む時には、過去の歴史を逆にリプレイするようなことはないでしょう。

ひょっとすると、立体の3次元ではなく、平面的な2次元の形で縮小していくかもしれません。

現在の宇宙は広がり続けていると言っても、まだまだシワだらけで、そのシワの陰に、我々からは観測不可能な無数の世界（宇宙）が存在しているでしょう。

また、ブラックホールが収縮を続け、その入り口を閉じてしまうと、この宇宙から姿を消し、「別」宇宙へと移行することもあるでしょう。

目下、拡大途中の宇宙には、シワに隠れた宇宙、ブラックホールに閉じ込められた宇宙と、様々な宇宙が存在する「マルチバース（多元宇宙）」状態を呈していますが、「一点」からの変化を続ける宇宙は、ひたすら拡大を目指し、ブラックホールをこじ開け、宇宙の全てのシワを延ばし、終には、ひとつの大宇宙、ユニバースとなるでしょう。その直後か、直前に収縮を始めることとなりますが。

空間が広がるパワーが、「空間のエネルギー」、「ダークエネルギー」です。物質も空間というエネルギーに化し、宇宙が、その中に存在物が一切ない、純粋な「場」のみになった、あるいは、そうなる寸前に、エネルギーは縮小のパワーとなって、あらゆる物質を生み出しつつ、「一点」を目指します。

「前ページ」に記した「ダークエネルギー」のついでに、
「ダークマター」について少し・・・。

銀河系の回転速度から計算すると、銀河の星々は
遠心力により、バラバラにまき散らされるはずなのだとか。

そうならない為には、かなりの質量の物質があるはず。
この物質を「暗黒物質」「ダークマター」と、呼ばれています。

おそらく、「物」をいくら探してもみつからないでしょう。
銀河の中心は、空間自身の歪みなのですから。
空間が、すなわち、「場」が自らを物質に姿を変えて星々を
生み出しているのが銀河なのです。